

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年 4月 22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1070101827
法人名	社会福祉法人 光塩会
事業所名	グループホーム 菜の花
所在地	群馬県前橋市上増田町 1番地 (電話) 027-266-8808

評価機関名	サービス評価センター はあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町 2-29-5
訪問調査日	平成 21年 4月 2日

## 【情報提供票より】(21年3月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 4 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 専任2兼務1人, 非常勤 5 人, 常勤換算 6.3

### (2) 建物概要

建物構造	木造
	1階建ての 階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 50,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	2,000 円		

### (4) 利用者の概要(3月1日現在)

	名	男性	名	女性	名
要介護1	4	名	要介護2	1	名
要介護3	2	名	要介護4	1	名
要介護5	0	名	要支援2	0	名
年齢	平均 81 歳	最低 65 歳	最高 97 歳		

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	上毛病院 文京歯科医院
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者は事業所設立時より「地域の中で普通の生活をする事」の大切さを認識しており、その思いを職員はしっかりと受け止め、事業所の理念として掲げて全ての職員が理念に沿った対応に日々取り組んでいる。利用者が毎日張り合いのある生活を送れるよう、生活歴・趣味・出来ること等の情報を共有し、役割(掃除・食事の支度・ゴミ捨て・皿洗い・畑仕事、犬の散歩等)を持ってもらったり、生活を楽しむ為の場面づくり(レクリエーション・書道・買い物・ドライブ等)を工夫して、利用者一人ひとりを大切に考えた個別性のある支援を心がけている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の取り組みを期待したい項目、現状に即した介護計画の取り組みと食事を楽しむことのできる支援については改善の取り組みが行われた。職員を育てる取り組みと栄養摂取や水分確保の支援については話し合いは持たれたが改善はされていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は日頃の職員の意見は参考になっているが、管理者が作成したものである。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催しており、事業所からはホームの生活の様子や行事の報告をしている。会員からは意見や要望を聴き、質問等に答えながら意見交換をしサービスの向上に活かしている。会員からの情報提供により地域の行事に参加し、地域の人達と触れ合う機会が多くなった。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族等の来訪時や運営推進会議等で何でも話せる雰囲気作りに配慮している。家族等からの意見や要望はサービスの質の向上に反映させている。職員に名札を付けて欲しいとの要望があり、即実行し職員は名札を付ける様になった。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会長をはじめ地域の人はいへん協力的で、地域の人たちから行事(夏祭り・文化祭・敬老会等)の情報を得て、出来るだけ参加し、地元の人たちとの交流を大切にしている。民生委員が折り紙指導にボランティアで来訪したり近隣の人が漬物を持ってきてくれる等、地域の人との交流が行われている。ホームで使用するのは地元で購入しており、地域とのつながりを大切にしている。</p>

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所設立時より地域の中で普通に生活することの大切さを認識しており、住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスを盛り込んだ独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時に理念について説明をしている。日々のミーティングや生活の場において理念を意識しながら話し合い、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会長はじめ地域の人はいへん協力的で、地域の方々から行事(夏祭り・文化祭・敬老会等)の情報を得て、出来るだけ参加して地元の人達との交流の機会を大切にしている。民生委員が折り紙指導にボランティアとして来訪したり、近隣の人が漬物や肥料等を持ってきてくれる等地域の人との交流が行われている。ホームで必要とする物は地元で購入しており地域との繋がりを大切にしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果を職員で検討し取り組みを期待したい項目4点のうち2点については改善に取り組んだ。今回の自己評価は日頃の職員の意見を参考にはしているが、管理者が作成したものである。	○	サービス評価の意義や目的を全職員で確認し、職員の意識合わせやケアの振り返りのためにも管理者は自己評価の内容を職員全員に伝え、全員で検討して作成することが望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開始しており、事業所からはホームの生活の様子や行事等の報告をしている。参加者からは意見や要望を聴き、質問等に答えながら意見交換をしサービスの向上に活かしている。メンバー(自治会長や民生委員など)からの情報提供により地域の行事に参加し、地域の人と触れ合う機会が多くなった。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議開催の連絡・各種書類の申請手続き等の代行・相談ごとのため市の担当者を訪れたり電話で話をする等交流の機会を作っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の来訪時に写真やケース記録等を見ていただき健康状態やホームでの様子を報告している。小口現金を預かっているので出納帳の確認をお願いしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の来訪時や運営推進会議等で何でも話せる雰囲気作りに配慮している。家族等からの意見や要望等はサービスの質の向上に反映させている。職員には名札を付けて欲しいとの家族からの要望により、即実行し職員は名札を付ける様になった。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限に抑える様にしているが異動の場合は出来るだけ業務経験者を採用するようにしている。異動のある時には運営推進会議や家族等の来訪時に報告している。新入職員に対してはホームの概要や利用者の状況等について説明し、管理者が指導にあたっている。又、新職員に対して利用者・職員が歓迎会を開き、出来るだけ早く馴染みの関係になれるように配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム大会には参加しているが、研修会等には参加していない。	○	職員の質の確保・向上に向けた育成のためにも、日常的に学ぶことを推進し、全ての職員が研修会や会議に参加する機会を作り、研修会等の内容は職員会議等で報告し全職員が共有して欲しい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡会に加入しており、総会やグループホーム大会に参加し、同業者から情報を得てサービスの質を向上させていく取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人と家族に見学してもらい利用者と一緒にお茶を飲みながら雰囲気を感じてもらって利用に繋がるようにしている。施設等からの入居の場合は職員が出向き話し合いをしている。入居時不安の強い方には家族に協力をお願いし、面会を多くしてもらったり、電話で話をし安心してもらうような配慮をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員は共有しており、畑仕事のやり方や料理の作り方等を教えてもらう事が多い。食事の片づけや掃除など出来ることはしてもらい、利用者・職員はお互いが協働しながら穏やかな生活が出来るように場面作りの工夫をしている。		
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、話を聴き、その時の会話や表情から意向や要望を汲み取っている。これらの情報は介護記録や申し送りにより共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族には日頃のかかわりや来訪時に思いや意向を聴き反映させるようにしている。日常の気付き等を基に職員が話し合い、介護計画に反映させている		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には月に1回のモニタリング、3ヶ月に1回の見直しを行っているが、状態が変化した際には随時見直しして現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況に合わせて通院支援・買物や図書館への同行・美容院の送迎など柔軟な対応を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医となっている。協力医がかかりつけ医の場合は同行し、状況に変化のある時には電話で報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応については契約書に明記しており、入居時に説明している。状態の変化がある毎に家族や事業者などの関係者が話し合い、支援に繋いでいる。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎日の申し送り時や日々の係わりの中でプライバシーの徹底について確認しながら、利用者の誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	これまでの生活習慣や体調を考慮しながら、起床・就寝時間や食事の時間等も利用者のペースに合わせた支援を行っている。利用者は本を読んだり、CDを聞いたり、自分の思いに沿った生活を楽しんでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れた献立により、畑で栽培した野菜を使用し、調理・盛り付け・食事・片付けを利用者と職員と一緒にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜以外の毎日の午後は希望があればいつでも入浴をすることが出来るが、概ね週2～3回の入浴を支援している。入浴を拒む人には言葉かけの工夫やタイミングを見ながらの対応をしている。状況によっては清拭をしたり、翌日に回すこともある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者各自の生活歴を把握し掃除・ゴミ捨て・食事作り・皿洗い・おやつ作り・畑仕事・犬の散歩など出来ることを役割としてお願いしている。歌・書道などの楽しみごとやドライブ買い物(2日に1回)・散歩等の気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や利用者の体調・希望に応じて散歩・買い物・ドライブ(桜・梅・菖蒲などの花見)に出かけており、日常的に外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の勤務体制や利用者の状態により施錠する時間帯もあるが、基本的には鍵をかけない生活を支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消火器等の整備点検を定期的に行っている。事業所独自で昼夜を想定した避難訓練を年2回行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの嗜好を考えながら、栄養のバランスのとれた食事を提供するように配慮している。食事・水分摂取量についてのチェックはしているが、食事の摂取量についてのみ全員記録し、水分の摂取量は不足がちな利用者だけの記録である。	○	高齢者の健康管理にとって水分の摂取は大切なので、利用者全員の摂取量を記録し健康維持に役立てて欲しい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るくゆったりとしており、観葉植物・季節の花・絵・利用者の作品等が配されており、窓外には季節の花・野菜・果実など季節を感じるものが植えられ、生活感を持ち、居心地良く過ごせるような工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのダンス・位牌・家族の写真・アルバム・テレビ観葉植物などが持ち込まれており、各利用者が安心して過ごせるような配慮が見られる。		